

令和7年度 健康こども部運営方針

部局名 : 健康こども部

部局長名 : 藤原 弥栄

基本方針（政策目標）

少子化の進展や多様化する子育てを取り巻く課題や環境に対応するため、子育て世帯への経済的支援や相談体制、安心してこどもを預けることのできるサービス等、妊娠期から出産・子育て期にわたり、家庭の状況に応じた切れ目ない支援の充実を図り、こどもを安心して生み育てやすい環境づくりを推進します。

また、「健康づくり推進条例」の基本理念に基づき、市民一人ひとりが主体的に食育や健康づくりを実践することにより、QOL(生活の質)の向上を図ります。また、健康状態を可視化し、健康課題を早期に解決できる多様な選択肢づくりを官民連携・市民共創で取り組み、未病予防及び未病の改善をめざします。

① ファミリーサポートセンター事業の推進

地域住民による育児の相互援助活動を行うファミリーサポートセンターにおいて、忙しい子育て世帯がいつでも会員登録や研修を受講できるよう、オンライン申請や動画研修を導入し利便性を図るとともに、ひとり親家庭に24時間分の無料チケットを配布する等利用促進を図ります。

② 子どもの居場所づくりの推進

家庭的に様々な事情を抱えたこどもたちに食事や団らんの場を提供するこどもの居場所づくり事業を推進するため、規模や運営実態に即した補助金となるよう事業費補助金を見直すとともに、一般社団法人ロングスプーン協会が運営するフードリボンプロジェクトの普及活動を行い、子どもの健全な育成を図ります。

③ ひとり親家庭への支援の充実

ひとり親家庭への支援として、養育費の取り決めを行うひとり親に対し、養育費に関する公正証書等の作成に必要な費用及び保証会社と養育費保証契約を締結する際に必要な費用について補助金を支給します。

④ こども家庭すこやかセンターの支援の充実・強化

令和6年度に設置した「こども家庭すこやかセンター」において引き続き、妊娠期から子育て期にわたり、家庭の状況に応じた切れ目ない支援の充実・強化を図ります。

⑤ **市独自の子育て支援の充実**

市独自事業の、専門職による家庭訪問と、育児用品等と交換できる5万円相当のポイントを支給する「にこにこベビー訪問（7か月児訪問）」や栄養価の高いお米を毎月10kg、妊婦へ提供する「マタニティ応援プロジェクト」に加え、ヘルパー等の家庭訪問による家事・育児支援を行う事業の実施等出産・子育てに対する支援の充実を図ります。

⑥ **5歳児健康相談を開始**

満5歳になるこどもを持つ家庭に「5歳児健康相談のご案内」を送付し、健康相談を実施することで、子どもの発達の特徴を早期に発見し、適切な支援につなげるとともに、生活習慣等の必要な指導を行うことで、学童期に向けた切れ目のない支援の充実に努めます。

⑦ **施設再編、認定こども園化による教育保育環境を充実**

「泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画」に基づき、施設再編と認定こども園化を推進し、令和8年4月に開園を予定している、旧条南幼稚園跡地及び東港公園内での認定こども園の新園舎整備を進め、受入れ園児数の拡大と就学前教育・保育環境の充実を図ります。

⑧ **保育料の多子減免制度の拡充**

子育て世帯の負担軽減のため、保育料の多子減免制度の国基準での実施を見直し、年収に関係なく多子カウントの年齢制限を撤廃し、すべての第2子を半額、すべての第3子以降を全額無償とする本市独自の減免制度を実施します。

⑨ **就学前施設での食育活動の推進**

食についての豊富な知識と実績を持つ食育アドバイザーの監修のもと、子どもたちが出汁づくりから料理を作って食べる体験や保護者向け日本食のクッキングの実施等の食育活動に取り組むとともに、給食食材のオーガニック化を推進します。また、公立の就学前施設の給食で提供している栄養価が豊富な金芽米を、民間園でも提供できる体制づくりを進めます。

⑩ **新たな泉大津版未病予防健診を開始**

未病予防対策を主体的に取り組むことのできる環境づくりとして、従来の健（検）診に、女性の更年期症状等の改善に向けた「エクオール検査」や免疫力の向上や未病改善に向けた「腸内環境検査」を市独自に追加した『泉大津版未病予防健診』を開始します。

病気になる前の“未病”の段階で健康状態が見える化し、市民一人ひとりが自分に合った健康づくりに主体的に取り組めるよう支援することで、健康寿命の延伸とQOL（生活の質）の向上をめざします。

⑪ ライフコースアプローチ（※）を見据えた食育の推進

食は生きる上での基本であり、からだづくりの基本であることから、妊娠期(胎児期)から、将来の疾病リスクを見据えた親子で参加できる腸活講座や野菜づくり、収穫体験等、将来の疾病リスクを見据えた食育のアプローチに取り組めます。

※ライフコースアプローチ:胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり

⑫ 大阪関西万博で「あしゅびプロジェクト」を発信

本市独自の「あしゅびプロジェクト」の取組を大阪関西万博にて全国に発信するとともに、市民の健康行動の促進、気運の醸成及び「未病予防対策先進都市」のPRに取り組めます。